

2021年度～2023年度JICA広報誌の編集・発行

(公告/公示日: 2020年12月15日/調達管理番号: 20a00934) について、企画競争説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
調達・派遣業務部次長(契約担当)

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P. 10	議題2 業務仕様書 3 業務の内容 ⑦ 納品場所	納品場所につきましてJICA本部、外部倉庫及び広報発送委託先とありますが、前(JICA補足:「全部」と理解)何か所となるのでしょうか	全10か所となり、内訳は下記のとおりです。 本部2か所(住所は同じだが、JICA発送センター(都内)とJICA広報室(都内)に分けて納品)、 発送委託先2か所(都内、神奈川県)、出版社(都内)、 その他納入先5か所(埼玉県、成田、関西、羽田、名古屋) なお、成田、関西、羽田、名古屋の倉庫は新型コロナウイルス感染拡大により現在は休止しているため、休止している間は上記埼玉県の納入先へ入庫します。
2	P. 10	3.業務の内容	和文広報誌の対象読者として、「国際協力に関心を持つ、または関心を持ちそうな国内の一般市民(読者は高校生以上を想定)」とありますが、現在の主要購読者の属性を教えてくださいませんか。	アンケートからは、会社員約20%、教員約20%、団体職員15%、公務員約10%、学生5%、その他30%の傾向です。 下記回答No. 25もご参照ください。
3	P. 10	3.業務の内容	「英文の広報誌はJICA協力相手国の関係者や各国開発パートナー関係者を主な読者対象とし」とありますが、もう少し具体的にターゲットを想起できるような情報はありますか。	現在の配布先は、日本の大学・大学院(主なターゲットは留学生)が75%、大使館が20%、その他は国際機関、国際協力系の財団法人等が占めます。今後はよりターゲットにそって、途上国の関係機関(途上国官公庁、研究機関、国際機関、他国のドナー、NGO等)への発信を強化していくことを想定しています。
4	P. 10	3.業務の内容	(1)和文広報誌の企画・編集・発行の⑤総ページ数に40ページを想定とありますが、「折り込みページ」も可能でしょうか。	「折り込みページ」も可能です。但し、制作や管理コストに見合う価値を発揮することが必要となるため、制作過程で発注者へご相談ください。
5	P. 11	議題2 業務仕様書 3 業務の内容 ⑦ 納品場所	納品場所につきましてJICA本部、外部倉庫及び広報発送委託先とありますが、前何か所となるのでしょうか	上記回答No. 1のとおり。
6	P. 11	(5)読者リーチ向上の企画実施	項目①～④についてそれぞれ施策が必要なのでしょうか。もしくは「読者層の拡大」という目的において適切な施策が網羅されているご提案をするという形でもよいのでしょうか。	発注者は①～④を想定していますが、「読者層の拡大」という目的において適切な施策が網羅されていれば相対しておらずとも可能です。
7	P. 11	(5)読者リーチ向上の企画実施	①読者層の拡大に「配布先やリーチ分析と拡大策の検討」とありますが、リーチ分析などの分析結果は見せていただけますか。	受注後にアンケート結果を共有させていただきます。
8	P. 12	(5)読者リーチ向上の企画実施 ③キュレーションメディア等との連携	連携するメディアにおいて、制限やルールなどはございますでしょうか。 例) 中立な立場からファクトに基づく発信を行う、政治的意図に基づいた情報発信は行わない、日英で発信しているメディア等	P. 22の留意事項をふまえ、JICAは ODA の実施機関(且つ公的機関)であることから、編集・発行される広報誌の体裁については編集・発行される広報誌の内容については正確性を重視、また、政治外交に対する意見等は含まず、デザインや体裁などは一定の品位を確保したものとするとご検討ください。
9	P. 12	(6)和文版読者アンケートの実施と集計・読者プレゼントの発送	毎号あたり、おおよその程度のアンケート改修(JICA:回収と解釈)数を見込めばよろしいでしょうか	現時点では100部程度の回収となります。この規模以上を想定し、リーチ拡大による回収数増加が期待されます。
10	P. 12	(7)ノベルティ等の配布用物品等の納品	要件の中にノベルティ制作とありますが、現状、ノベルティはこちらに記載のあるハガキ500部ということでしょうか	現状制作しているノベルティはハガキのみですが、ハガキ以外のノベルティ制作の提案も可能です。
11	P. 13	(1)和文広報誌の編集方針 ⑧	プレゼントにつきまして、こちらの発送業務についてはどちらで対応されるのでしょうか。また、その費用負担先、現状の発送数についても確認させていただきます	プレゼントの発送は受注者へ実施して頂きます。作業費は配送業務費として(発送費を含む)毎月固定とし、必要金額を見積もりに計上願います。現状の発送件数は毎月3件程度です。
12	P. 13	(1)和文広報誌の編集方針	「⑦読者の声を紙面に反映させるため、毎号読者アンケートを実施」とありますが、個別インタビューは可能ですか。	個人情報保護を遵守して頂きたい上で、受注者へ実施いただくことは可能です。
13	P. 14	③取材・編集	(ア)現地取材について、取材実施者への保険・保護などはありますか。また、コロナ禍の海外取材の実施方法についてのお考えをお聞かせください。	海外取材時の海外旅行保険は、受注者自身により加入いただきますので、必要金額を見積もりに計上願います。なお、新型コロナウイルス感染拡大により海外の取材地へ渡航ができない場合は、オンラインでの取材となります。
14	P. 14	③取材・編集	(エ)原稿校正について、表記の統一表はありますか。無い場合は、何に準じての校正になりますか。	原稿校正に関する特有の表記指針については、現受注者から引継いでいただきます。それ以外は、記者ハンドブックに準じます。
15	P. 20-21	(3)業務従事者の経験・能力等	1)業務責任者～6)英語業務担当者まで業務従事者を配置する際、業務を複数兼ねる人員がいても問題ないでしょうか。 例)「編集担当者」のうち1名が「読者リーチ企画責任者を兼ねる」等	同一人員が複数分野を兼務するご提案は可能ですので、その意図等を企画書に記載ください。
16	P. 10	第2 3 (1) 冊子概要	和文の冊子の開き方ですが、現在の右開きから左開きに変更のご提案をすることは可能でしょうか	可能です。実施の可否については、受注後にご提案の意図が目的等に鑑みて妥当であるか等を確認の上、判断させていただきます。企画書にご提案の意図などを記載ください。
17	P. 11	第2 3 (5) ②リーチ手法の企画・検討・実施・改善	『必要に応じて英語以外の外国語版記事への翻訳・作成、発信も想定される(必要に応じて受注者以外のリソース活用も可能)』と記載がありますが、こちらは御機密のスタッフが翻訳作業など実施して下さるという認識であっておられますか	JICAの関与ではなく、再委託など受注者以外の社等の活用を意図しています。
18	P. 12	第2 3 (5) ③キュレーションメディア等との連携	読者リーチ向上の施策としてキュレーションメディアと連携と記載がありますが、こちらは、「スマートニュース、グノシー」などのようなキュレーションメディアに限定したタイアップの実施という認識であっておられますか。特定の切り口で情報発信などを自社で行っているメディアは対象外となりますでしょうか	限定はありません。目的等に応じて選定の上、ご提案下さい。
19	P. 12	第2 3 (7) ノベルティ等の配布用物品等の納品	1号につき500部納品している葉書の代替品として提案するのは、デジタル商品(無形商品)でも可能でしょうか。それともリアルに配布可能なものでしょうか。また、各号500という数量は必須でしょうか	デジタル商品(無形商品)でも可能です。数量は必須ではありません。ターゲットや費用対効果等をふまえてご提案ください。
20	P. 12	第2 3 (8) 有料送付希望者への発送業務	教育機関や公共機関などへの発送作業は、受注者の作業でしょうか。また、その送料負担は発注者とのことですが、その費用は本予算外という理解でよろしいでしょうか	通常、教育機関や公共機関は「寄贈」扱いとなり、受注者外の、JICA広報室もしくはJICAの発送委託先の作業となります。有料(発送費のみ購読者負担)購読者への発送は受注者の作業となり、発送業務費として固定支払を想定しています。
21	P. 18	第3 1 (2) 5) 企画・編集、納品及び企画検討・実施・効果測定までのフローチャート、作業工程計画	作業工程計画を作成するにあたり、初校や再校をお送りしてからお戻しまで、現在はどれくらいの日数(例:中3日間など)を設けているか教えてくださいませんか。	関係者の範囲等により若干の差がありますが、中3日間をご想定下さい。
22	P. 19	第3 1 (4) サンプル	デザインのご提案(サンプル作成)のために、最新号(2021年1月 学びの現場 未来の社会を創る)の写真データを1号分お借りすることはできますでしょうか	完全版でご提案頂く必要はございませんので、HPなど提供済の情報のみでのご提案をお願いします。
23	P. 19	第3 2 (2) 業務の実施方針・実施体制	『記述は、全体で30ページ以内を目途としてください。』と記載がありますが、こちらは(1)応募者の経験・能力等、(3)業務従事者の経験・能力等やサンプルなどのページも含めて30ページでしょうか。それとも(2)の部分に関してが30ページ以内というご指示でしょうか	サンプルを含む企画書として30ページ以内を想定しています。
24	P. 10	2 業務の目的	国内の一般市民向けと記載がございますが、年齢層、性別などより詳しいターゲットを教えてくださいませんか。 また、どのような目的でどのような効果を得るために発行される広報誌となるのか、業務の目的の詳細をご教示いただけますでしょうか	高校生以上を想定しています。特定の性別は想定していません。項目No. 2、25等の関連記載も参照ください。 P. 10の業務の目的をふまえご検討頂ければと思いますが、JICAの一般向け広報誌として、広く学生から大人まで興味関心を惹きつけ、途上国と日本との関係、日本の国際協力に対する興味を高める(もっと知りたいと思っていただく)ことを目的としています。また、読者には教員を含む教育関係者も一定数いらっしゃる、学校の授業で本広報誌記事を活用して下さる例も多いことから、教育現場への一層の浸透も目的となります。
25	P. 10	3 業務の内容 (1) 和文広報誌の企画・編集・発行	発行される3,5000部の配布先はどちらになりますでしょうか	和文広報誌35,000部の配布先内訳は以下となります。 ・教育機関や公共機関は約15,200件(学校が約10,000件、図書館が4,200件、地方公共団体600件、官公庁400件) ・100件強がJICA内部への発送(国内拠点約20件、在外拠点約90件) ・約5,400件が法人への発送(国内約5,300件、海外70件)(うち、銀行が約600件、病院系が約2,000件、その他が2,770件、その他はメディア関連が多い) ・約550件が個人への発送 ・毎回約6,000部程度を在庫として確保
26	P. 11	3 業務の内容 (2) 英文の広報誌(四半期刊)の企画・編集・発行	発行される10,000部の配布先はどちらになりますでしょうか	英文広報誌10000部の配布先内訳は以下となります。 ・教育機関や公共機関は約1,040件(学校が約30件、大学附属図書館が800件、官公庁が20件、在日公館が190件) ・100件強がJICA内部への発送(国内拠点約20件、在外拠点約90件) ・約40件が国内法人への発送(約35件が財団法人、5件が一般企業) ・毎回約4,000部を在庫として確保
27	-	-	現在のJICAホームページ上でのMUNDIの記事掲載について、CMS(コンテンツ管理システム)は何を使っているか、また運用はJICA機構内または外部委託のどちらを想定しているか	CMSは現在、WebRelease2 Enterprise Editionを使用していますが、2022年9月に予定している全面リニューアル後のCMSは未定です。運用は現在、外部委託しており、今後も外部委託を想定しています。
28	-	-	新型コロナウイルスの流行が拡大した場合、発行日の変更等の可能性はあるか	原則として発行日の変更は想定しておりません。但し、やむを得ない状況に際しては協議を通じて判断します。
29	P. 7	1 O プロポーザルの評価及び契約交渉順位の決定方法	評価点が同一の場合は、見積金額が限度内で、かつ金額が安い方が優先されるのでしょうか	企画競争説明書P. 8 1 O (3) のとおり、評価点が同じ者が2者以上あるときは、抽選により交渉順位を決定します。

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
30	P. 11, P. 15, P. 16	第2業務仕様書 3(4)② 電子データの納品 第2業務仕様書 7 成果品 第2業務仕様書 8 成果品の著作権	受注者および第三者が従来から著作権を有する著作物について、受注者が発注者へ電子データを納品することにより成果品・成果物となり、著作権が発注者に発生するようにも読むこともできる。電子データで納品したとしても、受注者および第三者が従来から著作権を持つ著作物については、当該号の『mundi』および『mundi』の記事のWEB掲載のみで使用される理解でよいか。	当該号の『mundi』および『mundi』の記事のWEB掲載及び関連するイベント等での発信など本業務の関連での使用を想定しています。二次利用など更なる活用が発生する際には個別対応となります。
31	P. 11	第2業務仕様書 3(4)② フォトライブラリーへの登録	このたびの調達は、JICA広報誌の編集・発行をするための業務であるが、第三者が従来から著作権を有する著作物のフォトライブラリーへの登録ほか、『mundi』および『mundi』の記事のWEB掲載以外での利用に関する許諾や交渉も本業務に含まれるのか。また、本業務に含まれる場合、JICA広報誌の編集・発行以外に関する利用許諾の交渉などの業務対価は、清算内訳のどの項目に属するか。なお、受託者および第三者が従来から著作権を有する著作物を『mundi』および『mundi』の記事のWEB掲載以外で利用する際に発生する費用は、本業務の予算に含まれないとの理解でよいか。	フォトライブラリーへの登録は、mundi取材による撮影写真を対象としています。『mundi』および『mundi』の記事のWEB掲載及び関連するイベント等での発信など本業務関連での使用を想定しています。関連以外の二次利用など更なる活用が発生する際には、経費を含め別途の対応となります。
32	P. 11, P. 15, P. 16, P. 28, P. 29	第2業務仕様書 3(4)② 電子データの納品 第2業務仕様書 7 成果品 第2業務仕様書 8 成果品の著作権 第5契約書(案) 第12条 成果物の取扱い	本業務遂行のために撮影した写真や制作したイラスト、動画などについて、成果品・成果物である『mundi』広報誌に掲載されなかったアザークットも成果品・成果物として納品をするのか。成果品・成果物として納品する場合、時として膨大な量となるアザークットをすべて調整する場合があり、作業コストおよび著作権譲渡のコストについての費用は清算内訳のどの項目に属するか。	基本的に『mundi』広報誌に掲載、あるいはWEB掲載及びイベント等での発信など本業務関連での使用対象以外の写真等は成果品・成果物としては想定していません。特定の目的による依頼がある際には個別相談となります。
33	P. 28, P. 29	第5契約書(案) 第12条 発注者が利用するために必要な利用許諾を得るものとする	このたびの調達は、JICA広報誌の編集・発行をするための業務であるが、受注者および第三者が従来から著作権を有する著作物について、利用許諾を得る業務は『mundi』および『mundi』の記事のWEB掲載のためであり、範囲は『mundi』および『mundi』の記事のWEB掲載に限られるという理解でよいか。	基本的に『mundi』広報誌に掲載、あるいはWEB掲載及びイベント等での発信など本業務関連での使用対象以外の写真等は成果品・成果物としては想定していません。特定の目的による依頼がある際には個別相談となります。
34	P. 28, P. 29	第5契約書(案) 第12条 成果物の取扱い	成果品・成果物について受注者から発注者に著作権の譲渡および著作者人格権を行使しないとする契約案だが、カメラマンやイラストレーター、識者、著名人ほかクリエイター等が撮影、制作、創作したものについては、著作権の譲渡ではなく、対価に応じた使用権などの権利をクリエイターに検討していただくことは可能か。	可能ですが、関連の交渉は受注者によるものとします。
35	P. 13	第2業務仕様書 4(1)⑧ 提供元が無料で提供してくれる商品を取扱う	無料のプレゼントを確保できない場合の対応について。昨今のご時勢柄、無料でもらえる物にも限りがあり、かつ買い取りなどの要望をされる可能性が考えられるため。	応相談とします。有料が望ましいと提案する際には経費に含めて下さい。
36	P. 20, P. 21, P. 22	第3プロポーザル作成要領 2(3) 業務従事者の経験・能力等	契約締結後、業務従事者に変更の必要が出た場合、認められるか。	原則として評価対象の業務従事者については認めていません。健康上の事由等、真にやむを得ない場合には双方協議の上で判断となります。
37	P. 23, 別紙	第4見積書作成及び支払いについて 1(2) 清算内訳様式例	(定額計上)の海外取材費についてのところに、ライター及びカメラマン1名ずつ～(中略)を定額計上することあるが、積算内訳様式例において、なぜ年度経費と海外取材の2か所にライターとカメラマンが分けて計上されているのか	海外取材は実施タイミングが流動的となることから、ライターは1号ごとの金額への計上ではなく、年度ごと一括して計上しています。カメラマンは1号ごとの計上ではなく、年度ごとの計上として一か所に計上しています。